

災害対応の視点から今後の農村地域を考える

－愛媛県の事例を通して－

■趣旨

今回のミニシンポジウムでは、秋期大会の開催地である愛媛県でご活躍のお二方の先生に話題提供を頂き、愛媛県内における農村の現状や西日本豪雨災害からの復興、南海トラフ地震への備えとしての事前復興などの事例を通して、災害対応の視点から VUCA の時代の農村地域を考えていきたいと思えます。

また、今回は対面での意見交換やディスカッションができる久しぶりの機会であり、後半は広く会場の皆様からの意見を交えながら進めたいと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■日時：2022 年 12 月 11 日（日）13:20～15:20

■会場：愛媛大学農学部

■プログラム

◇話題提供（25分×2）

西予市野村町の復興と西予市三瓶地区の事前復興のサポート（仮）

：松村暢彦（愛媛大学社会共創学部教授）

農山村における災害とレジリエンスー愛媛県の無住化集落から考える（仮）

：渡邊敬逸（愛媛大学社会共創学部准教授）

◇コメント（5分×2）

農村計画学会災害対応委員会メンバーからコメント

◇意見交換・ディスカッション（60分）

コーディネーター：柴田祐（熊本県立大学環境共生学部教授・災害対応委員長）